

必要であると考えられる。

また、今回の試験は砂地でのデータであり、漁具の評価には底質の異なる場所でのデータも必要と考えられる。

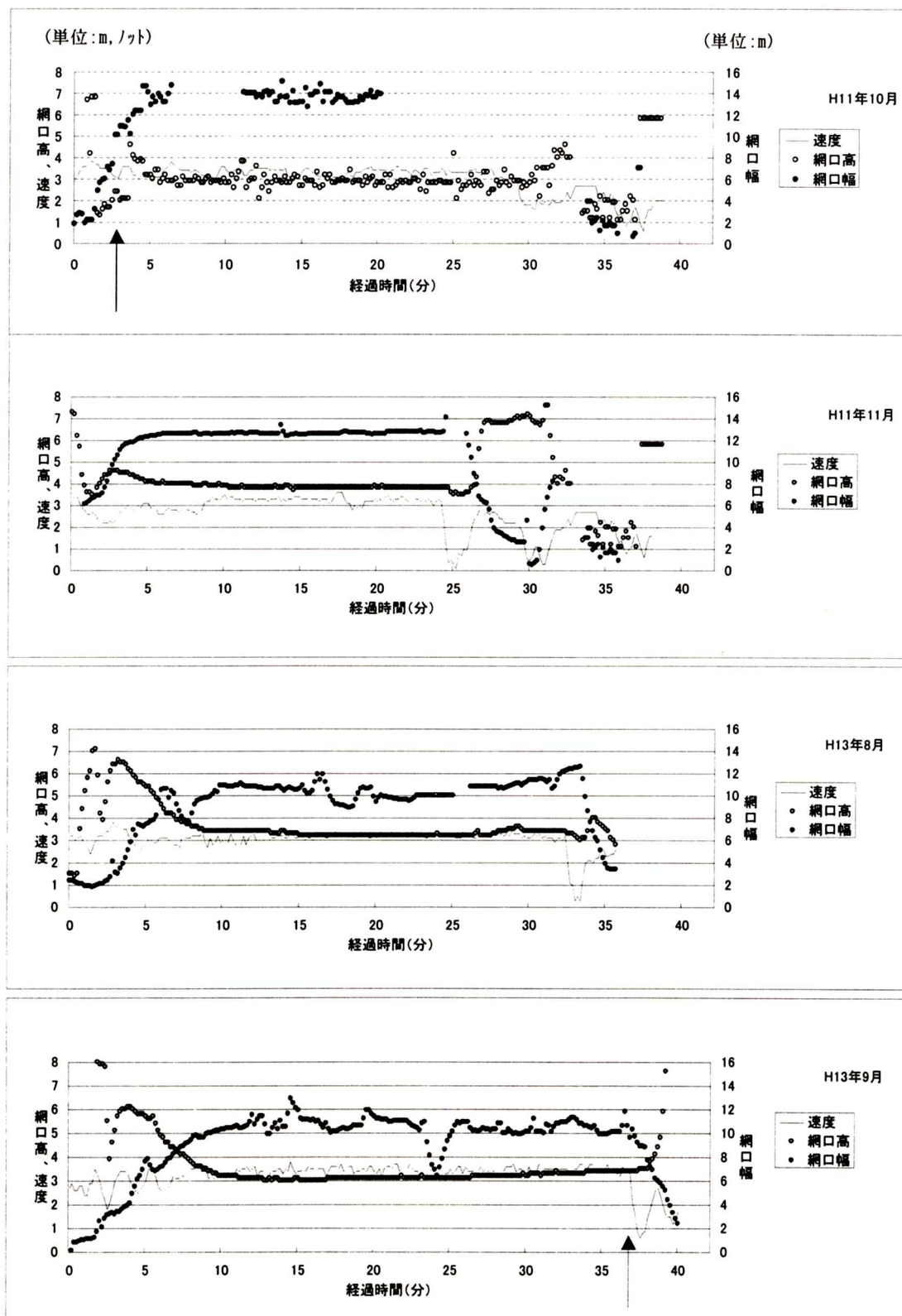


図1 いわき丸底びき網の網なり

(水深30m調査線。実線矢印は着底時、点線矢印は離底時を示す。平成11年は水中重量220kgのゴムボビングラウンド使用。平成13年は水中重量532kgのコンパウンドロープグラウンド使用。)